

令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実験や観察を丁寧に行った結果、高学年では「物の体積と力」については、目標値を上回ったものもあった。

(2) 課題

- ・自然事象や実験への関心はあるものの、基本的な知識や理解に結び付いていない。
- ・理科で学習した用語や実験器具の名前、その使い方の理解につまずきが見られる。
- ・説明したり自分の考えを表現しようとしたりするという意欲に課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回っている ▼目標値を下回っている

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼		
第5学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼	
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼	(第5学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ほぼすべての内容で、目標値を下回っていた。 ・生命、地球、基礎のカテゴリーが著しく低い。 ・目標値と大きく差がある項目は、「植物の育ち方」の理解についてであった。基本的な事項が身に付いていない。 ・用具の使い方の理解が不十分である。	・ほぼすべての内容で、目標値を下回っていた。 ・結果についての説明ができていない。 ・実験結果から考察する問題に対しての正答率が低い。 ・科学的な見方や考え方が十分に身に付いていない。	・問題を読み取る力や集中力に課題が多い。問題の意図自体が理解できず無解答が目立つ。特に、記述問題でその傾向が強く見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値に近かったり、上回ったりしているものもあるが、全体的に目標値を下回っている。 ・物の体積と温度は目標値を下回っていた。 ・用具の使い方が身に付いていない。 ・流れる水のはたらきは目標値から下回っていた。 ・基本的な知識が身に付いていない。	・活用のカテゴリーが目標値に足りていない。 ・日常事象における条件に着目して、知識を関係付けながら問題を解決することに課題が見られる。 ・実験結果から考察する問題に対しての正答率が低い。 ・生命、地球、活用のカテゴリーが目標値に足りていない。 ・結果についての説明ができていない。 ・実験結果から考察する問題に対しての正答率が低い。	・記述式の問題に課題がある。無回答の割合が約15%～20%程度。

3 授業改善のポイント（観点別）

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・用語や語句に関しては、毎時間の授業の中で確認して定着させる。また、教科横断して指導を心がけ、用語や語句に触れられるようにする。 ・学習したことを、テスト前などにタブレットの学習問題や教科書の適用問題などを実施する。 ・知識を正しく定着させるため、観察カードに視点を明確にして記録させたり、反復して学習をさせたりする。	・教師が用語や実験結果を補いながら、まとめる時間を十分に設けるようにする。 ・実験の内容によっては、ICTの学習教材や動画を活用して、結果を確認させる。 ・考察の記述が苦手な児童には、視点や観点を再度確認し、キーワードとなる言葉を提示することで、書きやすいよう支援をする。	・実験の目的を児童に問いかける等、何を解決するために活動しているのか、問題に立ち返らせて意図を確認する指導を繰り返す。 ・考察等を記述する前には友達と考えを伝え合う時間を設け、自信をもたせる。 ・事前にテストの問題の形式に慣れさせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学習したことを、テスト前などにタブレットの学習問題や教科書の適用問題などを実施し、インプットした知識をアウトプット	・考察等の文章を書くのが苦手な児童には、ポイントとなるキーワードを与えて、書きやすいよう支援する。	・学習したことに自信がもてるように、反復して問題を解いたり、単元のまとめで学習したことを再確認したりしていく。

させて理解を深めていく。		・ I C Tの学習教材を活用したり、動画で確認したりして意欲的に取り組むことができるように支援する。
---------------------	--	---